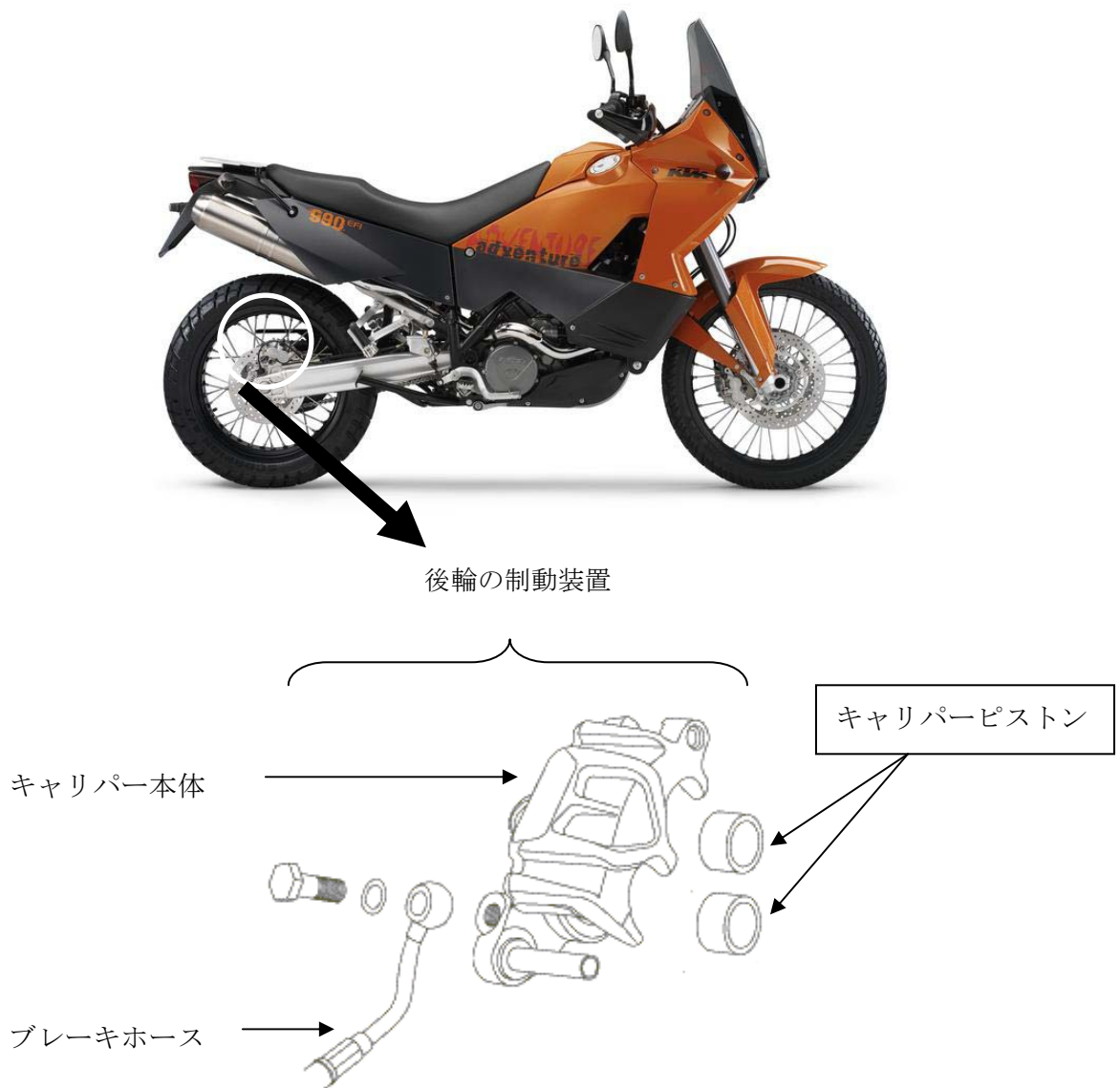


改善箇所説明図①



基準不適合発生箇所

後輪の制動装置において、キャリパーピストンの遮熱構造が不適切なため、制動時の発生する熱でブレーキオイルが高温になることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ブレーキオイルが沸騰し、最悪の場合、ベーパーロックが発生し、制動力が不足するおそれがある。

改善の内容：

全車両、後輪のキャリパーピストンを対策品と交換する。

注： は交換部品を示す。